

科目	中国語Ⅲ	担当	日下部 直美	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

外国語学習では、単に言葉そのものを覚えるだけでなく、言語表現に現れるその文化やものの考え方、認識の仕方を理解していくことも重要なことと思われる。この授業では、基本的な中国語の構造、表現形式を理解するとともに、中国という国の文化的、歴史的、社会的方面に関しても理解を深めていくことができる。また、1年次に習った文法事項を復習した上で、基礎語彙や応用表現を増やしつつ、少し長めの会話文やまとまりのある文章などを用いて、読解力を身につけることを目的とする。発音面においても声調を中心に矯正を行い、更なるブラッシュアップを図る。

【履修注意】

中国語学習経験が無い者にとって、この授業についていくのはかなりの負担となるため、1年次開講科目である「中国語Ⅰ」及び「中国語Ⅱ」を受講していることが望ましい。授業中の私語、携帯操作、居眠りは厳禁。遅刻は20分までとし、遅刻・早退・一時退室した場合は2回で1回の欠席とする。毎回教材を提出し、試験までにチェックを受けて合格すること。

【評価方法】

定期試験を70%、平常点(出席率・小テスト・授業に対する積極性等)を30%として評価する。

【試験について】

筆記試験を行い、持ち込み不可とする。欠席が6回以上の者は期末試験を受験することができない。再試験対象者の条件: 期末試験を受験していること。

【予習・復習】

予習・復習として、単語・本文の意味を確認しながら、発音練習を中心に行うこと。

【教科書】

書籍名:『星城大学『中国語Ⅲ』教材テキスト』著者:日下部 直美

【参考書】

①書籍名:『中日辞典(第三版)』出版社:小学館 ②書籍名:『講談社 中日辞典(第三版)』出版社:講談社

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	1年次の復習①(発音中心)	ピンインと既習の単語・表現の復習
2	1年次の復習②(文法中心)	ピンインと既習の単語・表現の復習
3	会話文と短文①	“是不是”の疑問文、“按照～”
4	会話文と短文②	“太～了”、仮定または条件を表す表現
5	会話文と短文①、②のまとめ	会話文と短文①、②の単語・表現の復習
6	会話文と短文③	様態補語、比較の表現“比起～来”、“A不如B”
7	会話文と短文④	“不但～還／也…”、比較の表現、“既～又…”
8	会話文と短文③、④のまとめ	会話文と短文③、④の単語・表現の復習
9	会話文と短文⑤	“疑問詞+也／都～”、いぶかりの“怎麼”、“一辺～一辺…”
10	会話文と短文⑥	介詞“離”、“越～越…”、“因為～所以…”
11	会話文と短文⑤、⑥のまとめ	会話文と短文⑤、⑥の単語・表現の復習
12	会話文と短文⑦	結果補語、“一点儿也不／没～”
13	会話文と短文⑧	“听说～”、“連～+都／還／也…”、“雖然～但是／可是…”
14	会話文と短文⑦、⑧のまとめ	会話文と短文⑦、⑧の単語・表現の復習
15	会話文と短文①～⑧のまとめ	会話文と短文①～⑧の単語・表現の復習
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ